

介護実習の内容及び特徴

1 各年次における介護実習の内容

< 1年次（介護実習Ⅰ） >

(1) 施設の概要を理解する。

① 実習前オリエンテーションを受け、施設の組織、運営、事業概要を学ぶ。

- ・施設の全体を理解する。
- ・法的裏付け、歴史的概況、地域の特性、建物内部の様子、各部署における職員の役割、利用者の状況、事業・業務内容、介護方針を理解する。
- ・介護職員の業務内容を理解する。

(2) 実習の意義、目標について考える。

① 実習目標を明確にして、実習に入る。

- ・目標を達成するための具体的な方法を考える。

② 介護職員の業務内容を学ぶ。

- ・業務の実際を見て、できることから経験する。
- ・日課表に沿った業務の進め方を学ぶ。
- ・コミュニケーション技術を用いて利用者に関わる。
- ・行われる介護技術の意味を理解し意識して、基本的な介護技術の実践を行う。

(3) 実習生としての基本的な態度を身に付ける。

① 自己紹介や挨拶からかかわりを始める。

② 明るい態度、活動に適した服装と言葉を工夫する。

< 2年次（介護実習Ⅰ） >

(1) 施設の概要を理解する。

① 実習前オリエンテーションを受け、施設の組織、運営、事業概要を学ぶ。

- ・施設の全体像を理解し、地域ケアシステムにおける介護サービス施設の役割を学ぶ。
- ・法的裏付け、歴史的概況、地域特性、建物内部の様子、各部署における職員の役割、利用者の状況、事業・業務内容、介護方針を理解する。
- ・介護職員の業務内容を理解する。

(2) 実習の意義、目標について考える。

① 実習目標を明確にして、実習に入る。

- ・目標を達成するための具体的な方法を考え、実践する。

② 介護職員の業務内容を学ぶ。

- ・業務の実際を見て、できることから経験する。
- ・利用者や家族との関わり方・コミュニケーションのあり方について体験的に理解を深める。
- ・ボディメカニクスの重要性を理解し、適正な使い方について学ぶ。
- ・科学的介護（根拠に基づいた介護）について理解し意識して、介護技術の実践を行う。

(3) 施設における安全対策・危機管理について学ぶ。

① 防災訓練などの訓練時に、利用者の安全確保の方法を学ぶ。

② 防災設備の操作を学ぶ。

③ 安全対策と危機管理の重要性を学ぶ。

④ 福祉用具の活用方法について学ぶ。

(4) 介護専門職としての責任と役割を考える。

< 3年次（介護実習Ⅱ） >

(1) 介護計画（個別援助計画）の必要性と介護過程の展開方法について学ぶ。

- ① 利用者状況について、情報収集・アセスメントを行い、個別性を理解する。
- ② 利用者の特性からニーズを明らかにし、目標設定を行い、介護計画を立案する。
- ③ 介護計画の実施・評価を行う。
- ④ 介護過程の展開方法について理解し、考察する。

(2) 医療関係など多職種と連携することの必要性を学ぶ。

- ① 医療・看護業務・リハビリ業務など関係部門の見学や実践を通して、他の専門職との連携や業務区分について理解する。
- ② カンファレンスや事例検討会に見学や参加を行い、介護従事者としての視点及び他の専門職とのチームとしての連携方法について理解を深める。

2 実習期間及び実習時間

(1) 実習期間

1年次	冬季休業中の4日間
2年次	7月の12日間 10月の8日間
3年次	6月の13日間 7月の15日間

(2) 実習時間

8:00～16:30